

第8次千葉県酪農・肉用牛生産近代化計画（案）に対する 意見と県の考え方について

千葉県農林水産部畜産課企画経営室

1 パブリックコメント実施期間 : 令和3年4月19日（月）～ 5月19日（水）

2 意見提出者数（意見の延べ件数） : 1人（10件）

3 提出された意見の概要と県の考え方

※提出された意見について、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

また、同内容の意見についてはまとめさせていただきました。

No.	計画書 該当箇所 ページ	御意見の概要	県の考え方
1	冒頭部分	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書に目次がほしい。また、細目項目番号とページを対応させてほしい。 ・「計画の概要版」がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見を踏まえ、目次、ページの記載をしました。 ・概要版については、県 HP に掲載します。
2	P.3	<ul style="list-style-type: none"> ・『1 千葉県の近年の情勢』について、前回計画とあまり変わらない。 ・戸数の減少が続くというが、酪農経営の戸数、肉用牛経営の戸数の現時点の数値が無い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の現状を記載しております。また、その他の項目については、今後の施策の推進に当り、参考とさせていただきます。
3	P.3	<ul style="list-style-type: none"> ・『(3) 乳用牛の供用期間の延長』について、前回計画とあまり変わらない。 ・生涯生産量の向上を図るためにとっていく取組の記載がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長命連産性の向上による生涯生産量の増加は重要であり、本項において、『(4) 乳用牛の供用期間の延長』の中で飼養管理の改善によるアプローチ、『(5) 家畜改良の継続的推進』の中で、生涯生産性の向上に向けた遺伝的アプローチの両面から記載しております。 この両面から供用期間の延長、生涯生産性の向上を目指す計画としています。
4	P.3	<ul style="list-style-type: none"> ・『(5) 牛群検定の加入率の向上』について、前回計画とあまり変わらない。 ・本県の加入率が低い課題と解決の取組等の記述がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データに基づく適切な飼養管理を推進することを目的に、牛群検定への加入を図る計画としており、貴見については、本案に含まれているものと考えます。

5	P. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・『(4) エコフィードの生産・利用の促進』について、前回計画とあまり変わらない。 ・エコフィードの利用について、食品製造物、粕類、落花生殻の利用等の記載は必要ないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品製造副産物は、経済社会情勢や消費動向により発生量が変わることから、需給情報の提供等により、需要側と供給側の結びつきの強化を図ることを目指す計画としております。
6	P. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・『6 輸出の戦略的な拡大』の部分で、牛肉、乳製品の千葉県の取組事例をもっと記載するべきではないか。 ・豚肉、鶏卵の輸出の記載部分は酪肉近計画に不要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本計画は令和 12 年度を目標とした長期の計画であり、現在における個々の事例を含めるべきではないと考えます。 ・いただいた御意見を踏まえ、記述内容を一部修正しました。また、参考として記載していた『豚肉』、『鶏卵』部分について、削除しました。
7	P. 8	<p>資源循環型畜産の推進にある『エシカル消費』とは何か。より具体的な説明が必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた御意見を踏まえ、以下のとおり記述を修正しました。 (変更前) 『併せて、飼養環境も配慮した放牧の推進により、エシカル消費の拡大を図る。』 (変更後) 『併せて、消費者等への理解醸成活動等により、地域と調和した持続性のある畜産経営を目指す。』
8	P. 11	<p>経産牛1頭当たりの年間搾乳量の目標について、9,400kgは低いのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、遺伝的改良が進んでおり、搾乳量の伸び幅は小さくなってきています。 ・本計画では、飼養管理の改善、遺伝的改良の両面から生産性の向上を目指し、搾乳量の目標 9,400 kg/年としており、現状を踏まえて適当な値と考えています。 なお、参考までに国は、家畜改良増殖の目標値を 9,000～9,500 kg/年と設定しております。
9	P. 25	<p>『①平地が多く、②山地が多く』の地域区分は県畜産クラスター計画での区分か。都市型酪農、農村地帯での大規模酪農などはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本県を地域別に区分し、その取組を記載することを目的としております。 『平地』とは県北地域、『山地』とは県南地域を想定しております。ご指摘の都市型酪農等はこの地域区分に包括的に含有されると考えます。